

学校教育目標	「学びを通して 共生 共感 創造 を育みます」				
	○お互いを思いやり、認め合い、社会に貢献しながら共生できる生徒を育みます。(公・開) ○自分らしさを豊かに発揮し、心身の健康を考え安全・安心な生活を送ることのできる生徒を育みます。(徳・体) ○興味関心を広げ、自ら創造・工夫し課題に取り組み、夢をもち未来をたくましく切り拓いていく生徒を育みます。(知・徳)				
学校概要	創立 9 周年	学校長 米盛 司	副校長 板倉 靖	3 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 450 人	主な関係校: 本町小 南吉田小 みなとみらい本町小 東小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	横浜吉田中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<グローバル化の中で生きる力> <自分づくりに関する力> <確かな学力>	横浜吉田中学校 本町小学校 南吉田小学校 みなとみらい本町小学校	○自分を律し、人を思いやる優しさをもつ子ども ○基礎・基本を身につけ、心身共にたくましく生きる子ども ○まちを愛し、地域や社会とのかかわりを大切にできる子ども ○多様性を尊重し、共生する力をもつ子ども ・小中各校における授業研に参加することによる授業力の向上 ・国際教室・個別支援級・小中連絡会での各校理解の促進 ・児童生徒の情報共有、指導支援の継続 ・小中合同あいさつ運動

中期取組目標	魅力ある「私の学校・私のまちおらが学校」となる横浜吉田中学校を目指します。 ○本校の教育環境を生かしたグローバル人材育成の教育をすすめます。 ○新学習指導要領に基づいた教育課程を実践し、PDCAの観点で、改善をすすめます。 ○外国につながる生徒の指導を含め一人ひとりの実態を把握し、共通理解のもと組織で動く生徒指導をすすめます。 ○校内環境整備を大切に、落ち着いた環境づくりをすすめます。 ○地域・社会との連携を大切に、オール横浜で創る教育をすすめます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
グローバル人材の育成	○外部連携を軸に1、2年の多文化共生プログラムを構築した資料を活用し、充実を図る。 ○評価を中心とした研究を推進し、引き続き英語力の向上と本校における共通言語の確立を図る。
担当 国際教室・英語科	
生きてはたらく知	○評価を柱とした校内授業研究会を開催するとともに、定着しつつある授業研究週間の参観体制の充実を図る。○日常に結びつく学習規律の確立と学び充実をねらい、外部連携を柱に放課後学習支援及び母語支援を図る。
担当 学習指導部	
生徒指導	○昨今、外国につながる生徒について他校間に見られる課題改善に向け、区内はもとより近隣地区とで管理職、専任を中心に連携・対応を図る。○教育活動全般を通じて居場所づくりの観点を促し、自己有用感の向上を図るとともに、自己を見つめ自尊感情の向上にもはたらきかける。
担当 生徒指導部	
教育環境整備	○より一層の環境整備を図るとともに、アウトソーシングの導入により教職員の負担軽減も進める。○「横浜一きれいな学校」の実現について、全校での取組と位置づけ、その意識の定着を図り、行動の具現化とその実践を進め、自校への誇りを育む。
担当 環境美化・営繕	
豊かな心	○自校愛の心を育むものとして校歌をしっかりと歌うこと、自校の実態に即し、あいさつは大切な共通言語であることについて意識の定着を図り、実践する。○行事をはじめとした教育活動全般で生徒の自主性の支援及び自治活動の推進し、自己有用感の向上を図る。
担当 特活指導部・道徳	
健やかな体	○選択制の給食導入に鑑み、自分の食の現状把握や適切な食と体づくり等についての知識習得を保健委員会を中心として生徒活動を具現化し、実践するとともに外部講師の助言、指導を通じて深めていく。
担当 保険安全指導部・学習指導部	
特別支援教育	○特別支援教室の学校全体での組織的な取組を行うため、個別支援計画及び個別教育計画の作成と活用を進め、不登校生徒、長期欠席者等への対応を充実させる。
担当 特別支援教育推進委員会	
地域連携	○交流委員会を中心に定期的な地域会合の連携をもとに次年度に向けた取組「学校運営協議会の設営」、「10周年記念に向けた事業」について協議を図る。○キャリア教育の充実に、地域交流を創意工夫のもと実践を進め、まちを大切にできる気持ちを育み、自己有用感の向上を図る。
担当 交流委員会	
いじめへの対応	○定期的な生徒アンケートや教育相談を実施し、早期発見・早期対応について組織的に取り組む。○校内委員会等において情報共有や課題改善の協議を積み重ね、その具現化を進め、外部機関を含めた組織的連携、協働を図る。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	○働き方改革の具現化に向けて、企画会を中心にカリキュラムマネジメントの実践を進める。○生徒のコミュニケーション力の向上を視野に、メンターチームを中心としてグループワークの実践を育み、やがて全教職員へと反映させていく。○教職員のカウンセリングマインドの定着を具現化する研修を実施する。
担当 総務部	